

地層の観察、岩石の観察での注意

関連単元

7.大地のつくりと変化

地層の観察での事故防止

- 野外観察では、開放感から、予期せぬ事故が起こりがちである。事前に現地の下見を行い、行き帰りの交通の安全や、現地での安全を確認することが大切である。
- 緊急の時の連絡方法の確認や救急箱の準備を必ずする。
- 地層の露出しているところは、特に危険が多く、上部からの落石や、土砂崩れも考えられる。十分に下見を行い、現地の人からの情報も取り入れ、危険に対処する。また、地震や崖崩れ等でできた新しい場所を教材にする場合は、住民感情に配慮する。
- 地層の上に道がある場合、その路肩は崩れやすいので、路肩からの観察は避けるほうがよい。
- ふざけて石を投げたりしないように注意する。
- 地層の観察は、できれば2、3人の指導体制で実施するのが望ましい。
- 場所によっては、環境を壊さないように保護地域に指定されていて、採集や立ち入りが禁止されていることがあるので、必ず事前に確かめておく。
- 化石が含まれているところでは、化石を必要以上に取らない。



落石に注意。



地層の上から観察しない。



6年

岩石の観察での事故防止

- 大きな岩石を扱うのは、児童の興味・関心を高めるが、同時に足の上に落とすなどの事故につながる危険性もあるので、注意を要する。
- ハンマーで岩石を割るときは、かけらが飛び散って、体や目を傷つける恐れがあるので、特に注意する。目を守るために安全めがねをかけさせる。
- 岩石によっては割れたところが鋭くなり、思わぬ怪我をすることがあるので注意する。資料として保管されている岩石の点検も忘れないようにする。
- 観察のときに、岩石に触った手で不用意に目をこすったりすると、手についた砂や火山灰や小さな岩石のかけらで目を傷つける。注意するとともに、観察終了後に手を洗うことも指導する。
- 子どもたちが安全にいろいろな岩石の観察ができるように、岩石園を設置するとよい。

● 地層の観察、岩石の観察をするときに気をつけよう ●

● 安全に気をつけよう

1 地層の観察をするとき

- 活動場所や目的に合った服装をする（右図）。
- 観察場所では、安全に気をつける。切り立ったがけは危険がいっぱいである。上のほうから石が落ちてくることもある。
- がけの上の道では、足場がくずれたり、足をすべらすこともある。はしのほうへは行かない。
- ふざけて石を投げたりしない。
- がけには登らない。
- むやみに穴を掘ったり、石を取ったりしない。



2 岩石や火山灰の観察をするとき

- 細かい火山灰や砂、小さな岩石のかけらなどがついた手で目をさわると、それらが目に入ることがあるので注意する。
- 岩石を観察するとき、足の上に落としたりしないように注意する。
- 岩石の割れている面の角で手を切ることがあるので注意する。

